

繪
錄
·
慘
過
酷
少
女



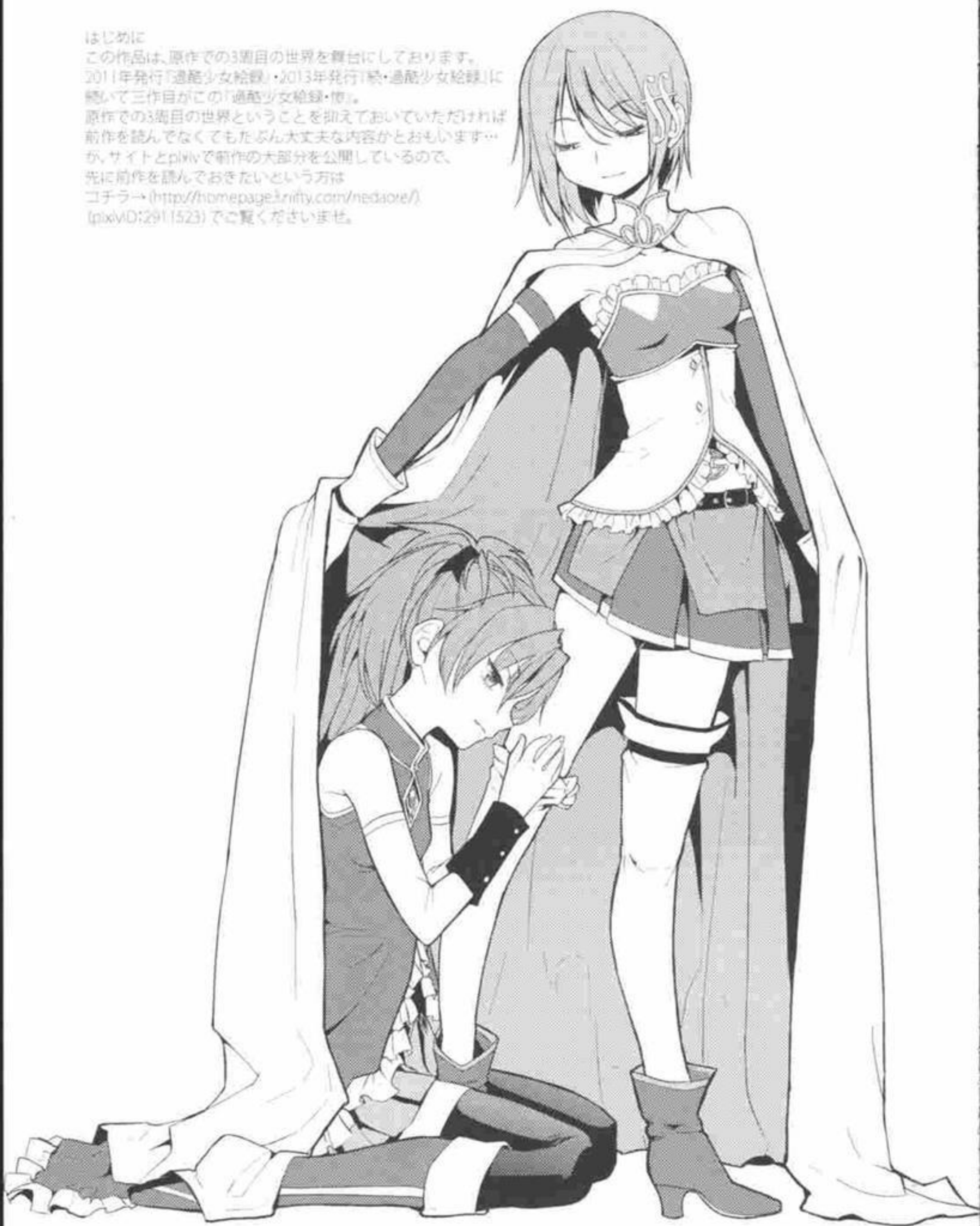
◆ R-18 成人向け ◆



PUELLA MAGI MADOKA MAGICA FANBOOK
PRESENTED BY NEDAORE

はじめに

この作品は、原作での3週目の世界を舞台にしております。
2011年発行「過酷少女絵巻」・2013年発行「続・過酷少女絵巻」に
続いて三作目がこの「過酷少女絵巻・III」。
原作での3週目の世界ということを抑えておいていただければ
前作を読んでなくてもたぶん大丈夫な内容かとおもいます…
が、サイトとpixivで前作の大部分を公開しているので、
先に前作を読んでおきたいという方は
コチラ→(<http://homepage3.nifty.com/nedaore/>)
(pixivID:2911523)でご覧くださいませ。





どうしたの!?

ねえ!

鹿目さん!?

しっかりして!!



こんなのおかしい...
間違ってる

なんで...
こんな!

どうして?



何?

魔女?

私は知ってしまった
ソウルジェムから
魔女が生まれること



巴さんは魔法少女の真実を受け止め切れない

やり直した時間でもまた鹿目さんは死んで



さよなら

また同じ時間をやり直す

まどか



キュウベえの本当の目的を知った私は

見せてあげるよ

ボク達インキュベーターの使命を魔法少女のこれまでを



巴さんは

どうしてあんなことには?



今度は失敗しない

まどかに伝えなさい!

宇宙とかアントロピイとかわけのわからないことに利用しようとしている



伝えなさい

みんなキュウベえに騙されてる!



……っ









この時間では
そうだけど



話をしたい
こともない

ボクは今日はじめ
ほむらと出会ったん
だけどなあ



ボクが
ほむらに??

あなた
暁美さんに
変な事
吹き込んだん
じゃない??



本当は
私たちに嘘をついて
契約させてるの!!!

私達を魔女に
するつもりで!

だまされ
ないで!



キエウベえと
契約したん
じゃないの??

そうとも
いえるし
そうじゃない
ともいえる

ボクの一団が
すべての
魔法少女を
管理している
わけじゃないからね

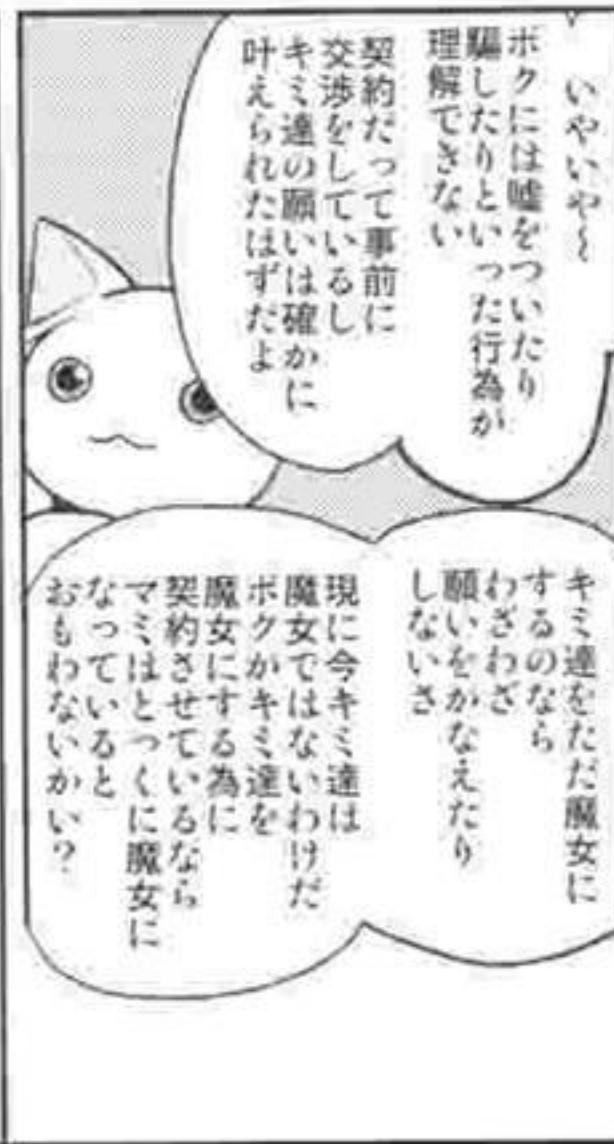
魔法少女は
世界中に
いるんだから



キエウベえ
あなた本当に
暁美さんに
嘘ついてないのね??

ボクが今まで
嘘をついたことが
あったかい??

ママ



いやいや
ボクには嘘をついたり
騙したりといった行為が
理解できない

キミ達をただ魔女に
するのなら
わざわざ
願いをかなえたり
しないさ

現に今キミ達は
魔女ではないわけだ
ボクがキミ達を
魔女にする為に
契約させているなら
ママはとくに魔女に
なっていると
おもわないかい??



この世界じゃ
二人と出会って
まだ数日
鹿目さんには
私は嘔吐きで
変な子に
みえるだろうな



いきなり
こんな話を
信じろって
言われても
無理だよ
ね
実際に見てきた
私にだって
認めたくない
事実だったもの



無いわね



私としては
仲間が増えるのは
大歓迎だから

これから
私たちと一緒に
魔女退治は
どうかしら？

暁美さん
さっきの話は
気にしないで

きつといじわるな
キュウベえに
からかわれたのよ



不安そう

巴さんと
私が喧嘩しないか
心配してるんだ



がんばって
信用されなきゃ



これから一緒に
がんばろうね♡



はい
よろしく
お願いします



少しずつ
だけど



三人の
チームワークも
良くなってきた

今日か
明日か



そろそろ...

もう一度二人を
説得してみようかな



...と思ったんだけど

まいった

まさかまで
転校生まで
魔法少女
だったとはね

まいった

たっはー

あつはははは
世間は狭いわ



どうしよう...
一人増えた

今までの周回で
美樹さんが
契約したこと
一度も
なかったのに



転校生って
どんな武器
使ってるの?

こういう
モノを...



もしかして
今スイッチ
押ししました?

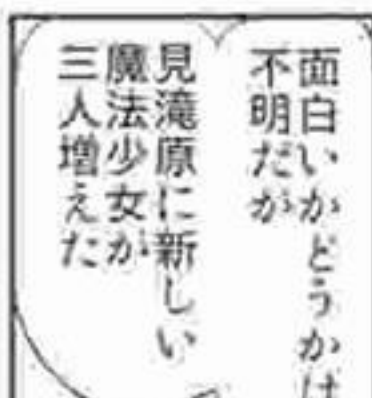
押したけど
悪かった?



なにこれ?

カチ





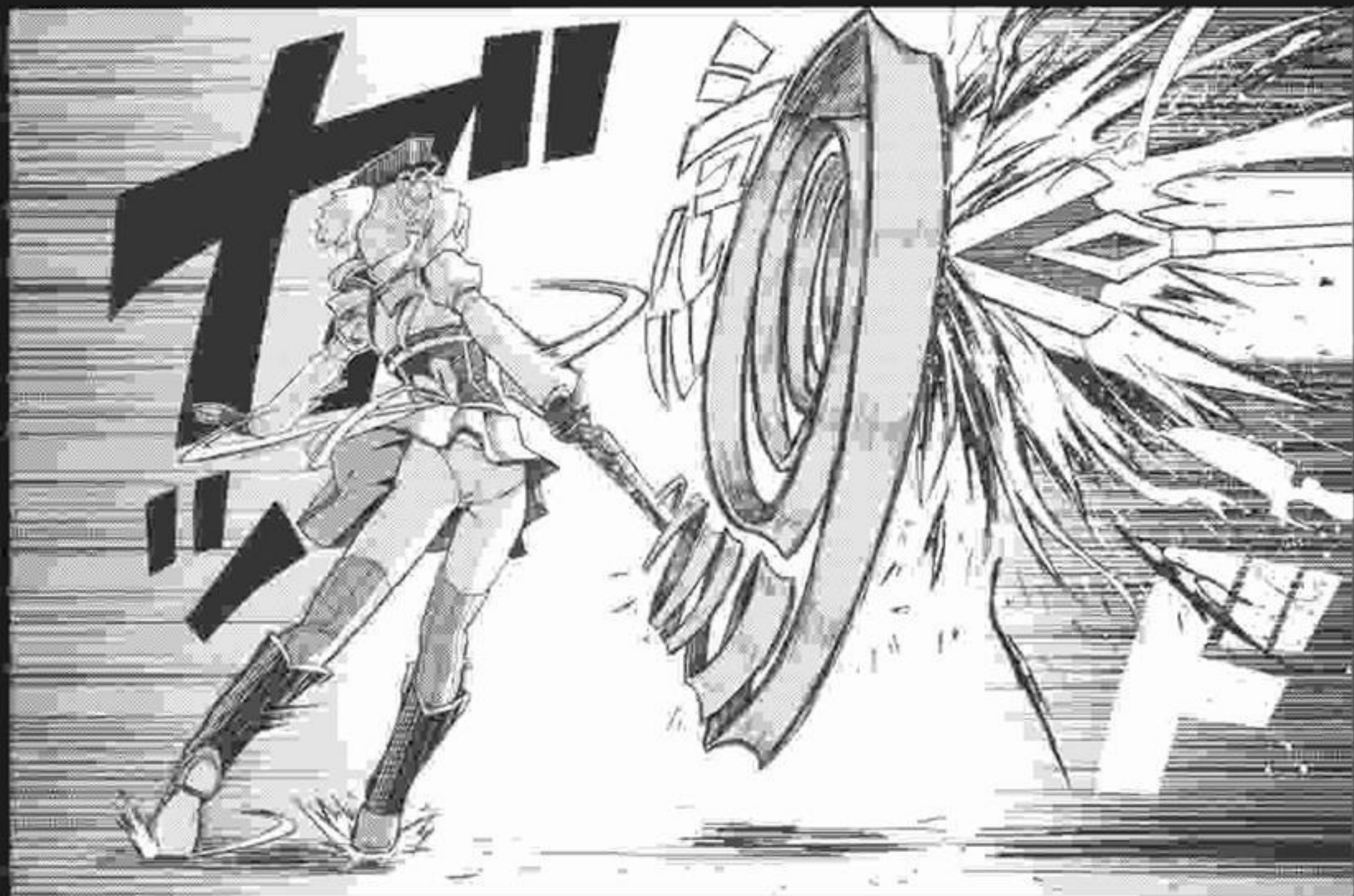




勝手に
私のこと
きめつけないでよ









相変わらず
使い魔返治なんて
ズルい事を



彼女は



佐倉杏子

やっは
カードされるか



そうでなきや
あなたの理想に
裏切られる

使い魔が魔女に
育つまで待ちなつて



ここにいる
みんなは
あなたとは違う

そんなことに
ならないように
効率よく魔力を
運用しているわよ



また知らない
魔法少女が
出てきたよ

……



マミ……
あんな
わかってんのか？
一箇所に
魔法少女が
4人もいちゃ

いずれ
グリーンフィードが
戻る

そうすりや
どうなる

あんなたち4人で
グリーンフィードの
取り合いだ



親切心で
忠告して
やってるのに

まあ
あたしとしては
同士討ちでも
してくれたほうが
漁夫の利って
もんだけど

見滝原って
いい狩場
なんだよね

アンタみたいなの
悪い魔法少女も
いるんだ



悪い？
自己の利益を
追求することが
悪だって？
自分が
正しいつもり
なんだ

弱い人を
守るのが
魔法少女でしょ!!

弱いやつは
魔女に食われても
しょうがないのさ

そうやって
弱いやつが
魔女に食われて
強いヤツだけが
生き残るんだったら

人間の将来の
ためっしょ？

美樹さん
危険よ
下がって

それが
自然淘汰ってやつ



使い魔のときに
食われる弱い
やつは
どうせ人の社会じゃ
生きていけない
弱者だよ

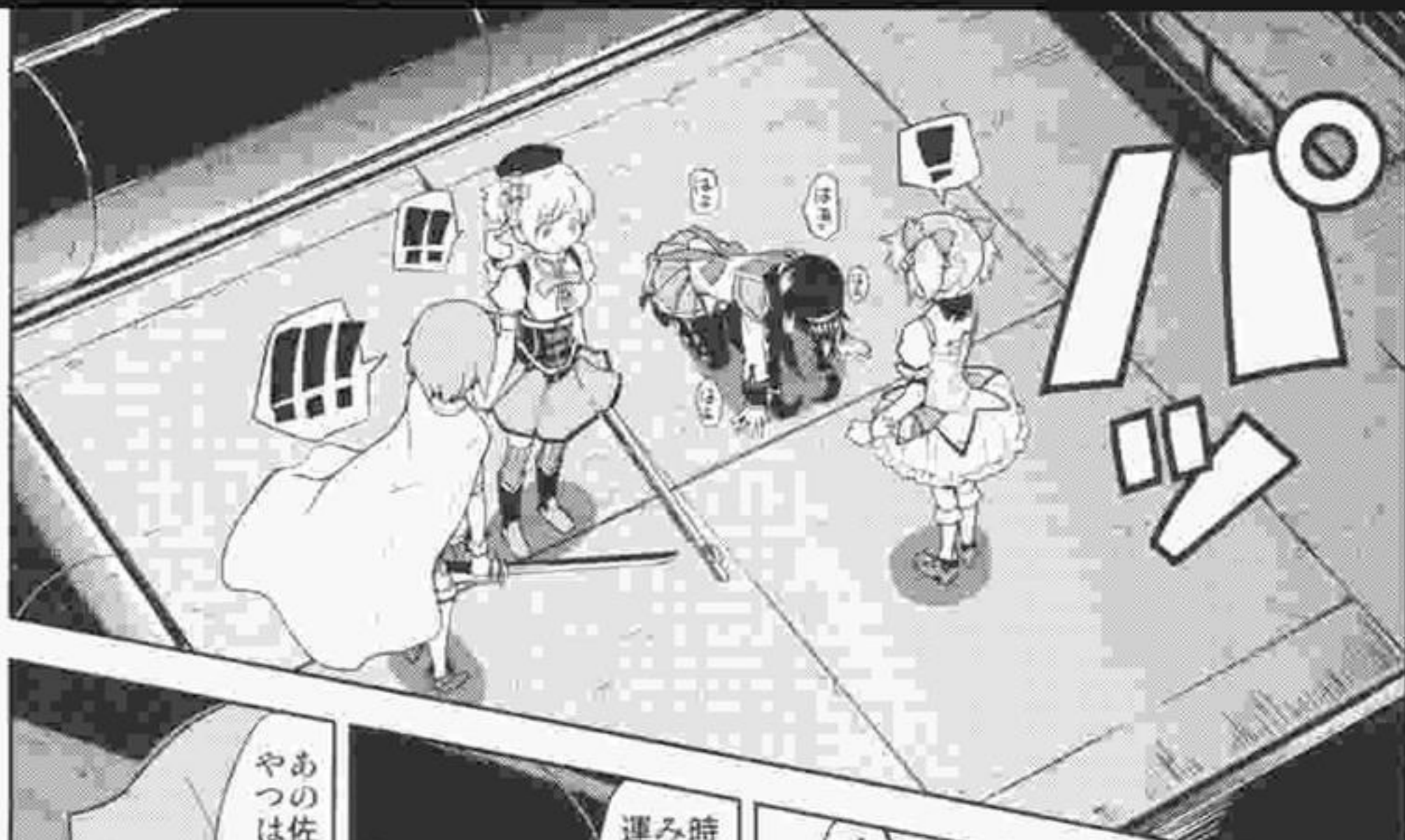
他人に迷惑かけて
死ぬよりも

使い魔を成長させる
エサになつてくれれば
あたしたちにとっても
得だし無駄死にじゃない

お前なんか

魔法少女じゃない!!











それは……!!

私達に妙な事
吹き込んで
仲間割れでも
させたいの?

まさかあんだ
本当はあの杏子とかいう
奴とグルなんじゃ
ないでしょうね?

ちっ!
違うわ!

さやかちゃん
それこそ
仲間割れたよ



どつちにしろ私
この子とチーム組むの
反対だわー

まどかやマミさんは
飛び道具だから
平気だろうけど

いきなり目の前で
爆発とか
ちよつと勘弁

妙なところで
強気になって

何度
巻き込まれそう
になったことか

美樹さんを
怒らせて

巴さんの
困った顔

曉美さんには
爆弾以外の武器って
ないのかしら?



鹿目さん
の顔……

ちよつと
考えてみます

どうしたら
信じてもらえる?

ワルブルギスの夜が
くるまでに
なんとかしないと……

怖くて
みれない
きつと
あきれて
いるんだわ

まどか
帰ろ!

まって
さやかちゃん





寂しかったわ

暁美さんには
私はどうみえる？
強くて
自立した先輩？

でもね…昔は
私一人で戦ってたね



暁美さん
みんなを不安に
するようなこと
言わないで

でも…



キユウベえはね
魔法少女になってから
ずっとそばに居てくれた
私の大切なお友達なの

キユウベえが
私たちに
悪意を持っていて
なんて思えない

ごめんなさいね
こんな話

キユウベえが
いてくれて
どれだけ私が
寂しさを
乗り越えてきたか…

だけど…
悪いけど
暁美さんの話



友達…か

巴さんを説得するのは
無理かもしれない

私は信じないわ



でもあんな夢
みんなには言えない



ほむらちゃんと
出会う前
夢の中で会ったこと
があるんだ

さやかちゃんには
いえなかつたけど
本当は



「転校生がまどかを見る目
なんか普通じゃない」

か...



生々しい夢

夢の中の
ほむらちゃんが
私のことを

「まどか」
...って
呼ぼうとして

でも
呼ばれない

だって

ほむらちゃんと
エッチなことしてる
夢...だったから

そこで
目が覚めちゃうの



またこんな事して
ダメだよ
わたし

ふう

はあ

はあ



まどか...
まどか...



へんな気持ち



あーあ

今頃仁美は恭介に告白して成功してるとるんだろーうな

仁美が相手だもん断る訳ないじゃん



夕日が……まぶしい



つーか告白なんて他人からせかされてするものじゃないっつーの

そもそもなんで私が恭介を好きって事になってるのさ

仁美のばか



これに……！
ママさんだって恋愛や遊んだり出来ないって言うってたし！

ママさんみたいなの強くてかっこいい正義の味方に私はなる！



恭介の手を治したのには私だけ



んあ？
あれ？

Look!

あれって転校生？



下心でキュウベえと契約したわけじゃない！

正義



さつさと
変身しなよ!















あーなんか
イレギュラーの
珍奇な行動で
白けちゃったからな
休戦ってことで…
腹も減ったし

つーか
何フツーに
なってるわけ!?
私たちが敵同士
なんだからね!



どんな願いで
そんな武器になるのさ!

なにが正義の
味方だバカ!
魔法少女の癖に
近代兵器使うとか
反則じゃん



ママのお仲間だけ
あって扱いつれえな



こーいうところが
調子狂うんだよな



お菓子たくさん
ありますよ

これ食べ
ますか?



気ままに
生きてるだけさ

まあ
長い話だよ



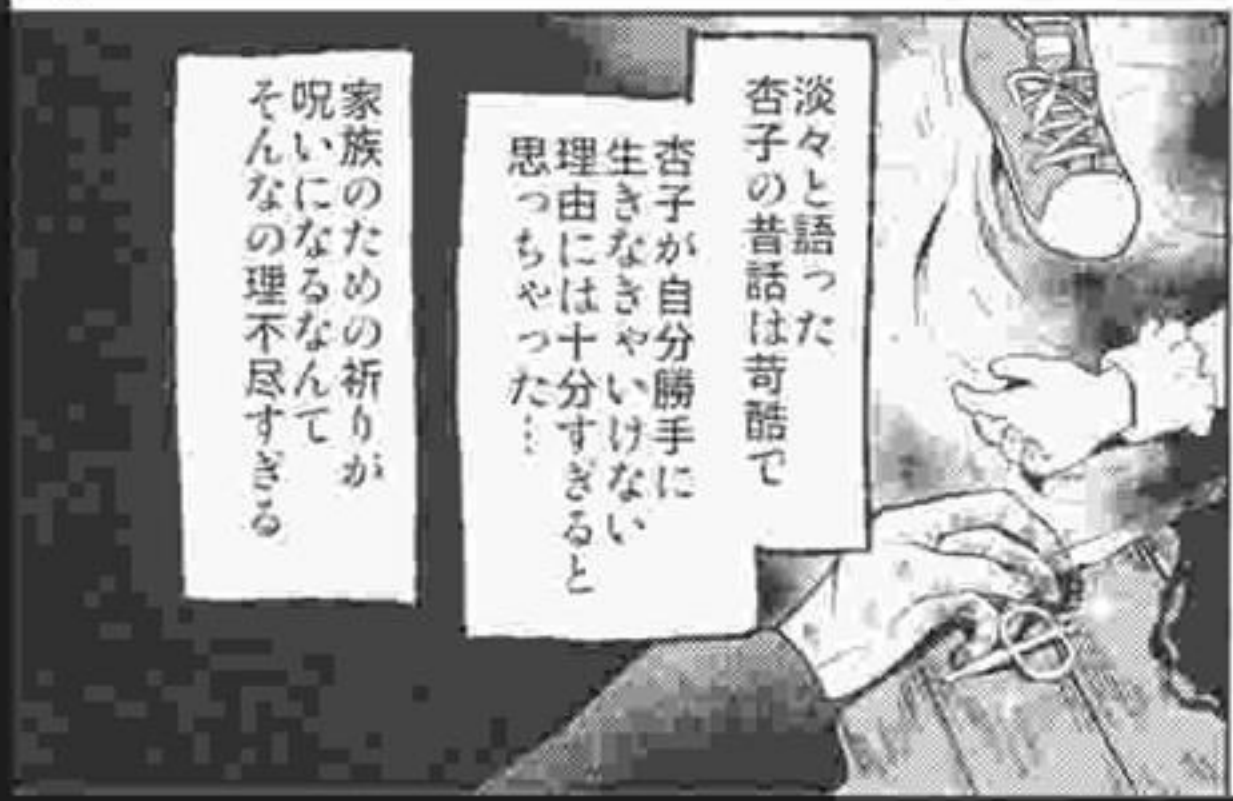
どうして
落ちぶれたわけ?



あんたって
ママさんと
どういう関係?

やたら
突っ掛って
くるよね

昔ママと
コンビでね
方向性の違いで
解散ってやつ
一応ママの方が
先輩で…
あたしも
初心者だから
いろいろ教えて
もらってさ
そーいや
あの頃はあたしも
正義を信じて
戦ってたんだよなあ



淡々と語った
杏子の昔話は苛酷で

杏子が自分勝手に
生きなきゃいけない
理由には十分すぎる
思っちゃった…

家族のための祈りが
呪いになるなんて
そんなの理不尽すぎる



はあ!?
惚れた男のために
契約した〜?

べつに惚れて
ないってば!!
友達なだけ!

美樹さん…
そうだったん
ですね

もつたいない
ことに
願いやがって
使いやがって



あんたは何で
契約したんだ?



魔法の力を利用して
人の気持ちを変えてやろうなんて
おこがましい
考えたよね

こんな話を
どんな顔で
話しているんだろう?

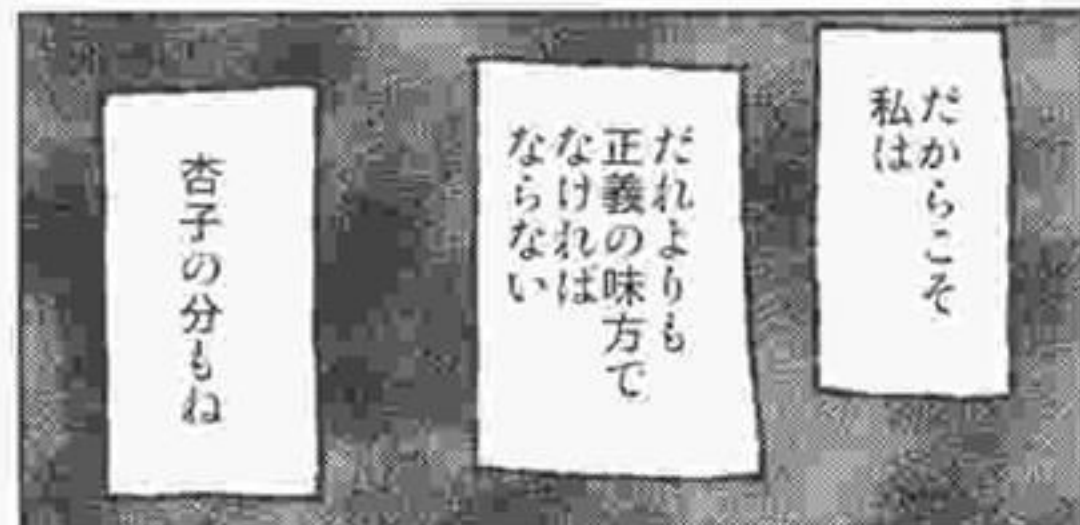
それでさあ
希望と絶望は差し引き
ゼロなんだって…
仕組みがわかったってわけ

おかげで
今は賢く
生きれてるよ



私の悩みなんて
杏子の過去に
比べたら
らっほけなのかもね…

希望と絶望は
差し引きゼロ
世界はそういう
バランスなんだったら



だからこそ
私は

だれよりも
正義の味方で
なければならない

杏子の分もね



絶対に勝てない敵と戦った
魔法少女がいたの
死ぬってわかってても
その人は戦い続けた
最後まで
魔法少女になって
よかった…って言って
その人は死んだわ

私はその人に
生かされたけど
納得できなかった

私はその人を守る為に
何もかもやり直す為に
キュウベえと契約して…
そして時間が巻き戻った



さて次は
ほむらの番だよ
どうして
魔法少女に
なったの?







うん
わかってる

ほむらは嘘は
ついてないんだよ

きつとさ
魔女かなにかの
攻撃で…
幻術とか幻覚とか
そういうので

ありえないものを
観たんだよ



嘘じゃない!!

本当の事なの!!



ほむらが
嘘吐きだなんて
思っただいから

ちよつと
うっかりしてる
とは
おもってるけど!!



大丈夫だって
そんな顔しないでよ



確かに精神攻撃を
してくる魔女も
いるにはいるが…



そっか

杏子も家族が…

だからわかるんだ



でも
まどかってヤツが
死んだのは
本当みたいだな



そういう
顔してる



杏子も
そう思うでしょ?

実際に見た
わけでもねーし…

なにせよ
あたしには関係ない
主義を変える
つもりはない





昨日はどうして告白なさらなかったのですの？

どうしてって仁美に関係ないっーか

そもそも恭介が好きだなんて私言っていないし

じゃあ好きでもなんでもないので？

もうそんなのどうでもいいでしょ！



それより告白したんでしょどうだった？

気になるんですの？

でもどうでもいいさやかさんには関係ありませんわ

あのさ……

ギスギスするのやめようよ



別に私の事にしないで勝手に告白すればよかったのに

選ぶのは恭介なわけだし

ずるいですよね
わかってるんです私の気持ちをさやかさんにも押し付けて選ばせて

自分の告白を正当化しているって



子供の頃から
さやかさんのそばには
上条君がいて……
きっとお二人は
恋人同士になるんだと
思っていました

さやかさんとも
親友でいられて
私は安心して
上条君をあこがれて
いられたのに

それに
最近はまだかさんと……
暁美さんとまで
こそその内緒話をして
なんだか私は仲間はずれ

私がお稽古や塾で
放課後さやかさんと
一緒に遊べないから

私って本当は
わがままですの
恋も友情も
どちらも欲しい
でもどちらかひとつしか
選べない……
恋をとるなら
私かさやかさんどちらかが
傷つかなくてははいけなくて

ですから
さやかさんが
先に告白して
上条君と結ばれたら

私は満足して
失恋できるし
さやかさんと
お友達でいられる

残念ながら……
上条君は私の告白を
受け入れて
くださいましたわ

はは……私が振られるって
可能性は計算に無いんだ

でも現実には
酷いですわ
さやかさんは
告白もしないで











幸せにならなきや
怒るからね
仁美

さやかさん
私さやかさんが
大好きですわ



うええ

えい

私は仁美を
守ったと思う



シロ



うん



じゃね

先生には私から
言つとくから
休んでて





げ〜っ!!
美樹さやか!!





さやか…



ふん

私は…ね

告白しなかったんだ…

だからねっ!!

泣く…権利も
悔しがる権利も

ないんだよ……!!

絶対に泣いたりしない!!

ふん



今日は見逃して
あげる!
次はないから!

ああ
そうかよ!!



どう見ても
泣いてるじゃねーか!!

泣いてない!!



本当に
それだけ?

仁美

本当は私
わかってるよ
自分で自分の恋に
敗れたんだって

全部ごまかし

ソウルジェムが
また濁っている
ほむらの言うことは
ホント調子狂っちゃうよね



私はただ恭介に
音楽を取り戻して
あげたかっただけ

恋のために
折ったんじゃない

泣いたり
後悔したなんて
みっともない

悪い魔女からみんなを
守る使命だってあるんだよ
魔法少女の力は
そのためのもの

つまらない祈りだなんて
思わない



美樹さん！
今日もまた一人で
ハトロールするなんて
危険よ！

みんなと一緒に……！

ああ……すいません
ちよっと一人に
なりたくて

どうして？

あはは♪
実はみんなには
内緒だったけど
私失恋しちゃって
なんかそれで
一人になりたいっつーか
そっとしておいて
欲しいっつーか
もー言わせないで
くださいよー



おえ
ほむら

まどかの事
好き？

いいま
答えなくて

え



そういうことなら……
事情も事情だし……
でも無理しては
だめよ



ごめん！！
みんな！！

しばらく私のわがまま
聞いてください！！



さやかちゃん
ソウルジェムは
大丈夫？

大丈夫大丈夫
私って
癒し系だからさ



がんばりなよ

まどかは誰にても
優しいから

へえ
あの佐倉さんが……
ねえ

美樹さんのような
願いで契約した子とは
相容れないと
思ったのだけど

佐倉さんって
思ってたよりずっと
話しやすい人でした

大丈夫だとおもいます
美樹さんと佐倉さん
結構仲良くなれたから

また佐倉さんが
襲ってこなければ
いいけど

知らなかった

いつの間に
仲良く
なってたの
かしら

あの
佐倉さんが

私は一人でも
大丈夫だから！
美樹さんを
お願いね

しよーがないわね

……

私も！
さやかちゃんか
心配だから……
いいですか……？
マミさん

巴さん……私
少し気になる
ことがあるので
美樹さんを
追いかけてきます

はい

いいですよ

おまかせ

そんなことは
ないさ

佐倉さんとも
決別したままで
先輩失格だな……

年長者の私が
一番しつかりしなきゃ
いけないのに

美樹さんの
変化にも
気がつかなくて



マミという理想の魔法少女がいたからこそ、まどかもさやかも魔法少女になる決心をしたんじゃないのかな

実際マミのような魔法少女は珍しい後輩の育成が出来るほど余裕のある魔法少女は滅多にいないからね

ボクはとて助かっているよ

もうキュウベえっいたら

褒めたって何もでないわよ☆



ほむらちゃんの「少し気になること」って何?

美樹さん……ソウルジエムを見せてくれなかったでしょ
彼女の性格だとソウルジエムが綺麗なら堂々と見せてくるはず……

ほむら
ごんなに
輝いてる

だ!

でも彼女は見せなかっただからソウルジエムが漏ってるんじゃないか……って思っ



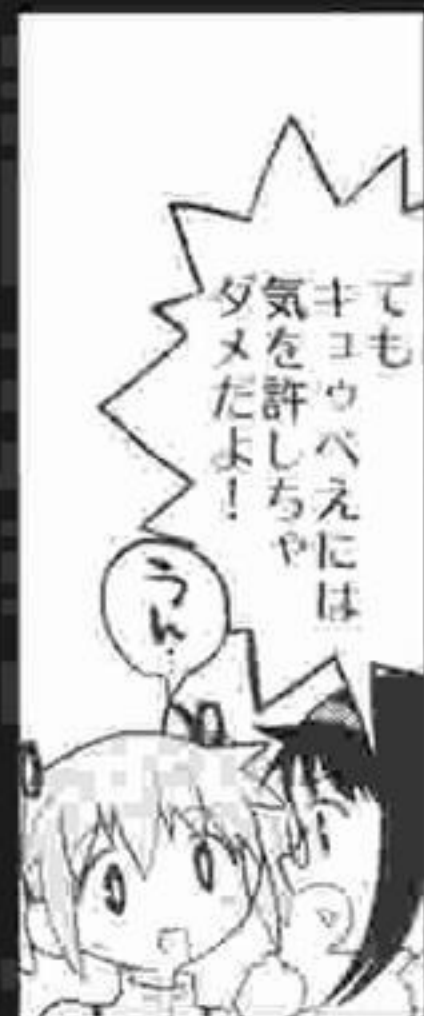
ごめんね……ほむらちゃんソウルジエムが魔法を生むって話まだ信じきれなくて……
でもソウルジエムが漏らないように気をつけてるんだよ

いいんだよ鹿目さん信じられなくても私ね美樹さんと佐倉さんと話してわかったの

私の一番の願いはキュウベえの悪巧みを知って欲しいことじゃないんだもの

……守ること

だから







今日ね仁美と恭介がデートしてた...私がいなきや二人とも恋人にはなうてなかつた

仁美も恭介もなんて助けちゃったんだろうって...思っちゃった

杏子の言うとおりでさ失恋したくらいで情けないよね

でも私の中はねたみでいっぱいってそんなこと考えてる自分に腹が立って自暴自棄になつて無茶な戦い方して

かつこ悪くて情けなくて...ああ私...死ねばいいのかな?って思つて

でも死ぬこと自体誰かさんたちへのあてつけみたいで許せないんだ

悩むことに疲れて恭介の腕を治さなければよかつた...って最初の祈りも否定しだして堂々巡りなんだ

バカだな考えすぎなんだよ

まずは生きるためにソウルジエムを浄化しなよ

あんた私たちが魔女になるって本当に信じてるの?

そうじゃない

さやかが犠牲になつてあいつらに奇跡を与えてやった

さやかは一人で二人も幸せにしたじゃないかそれで十分...十分な数助けた

この世には誰も救えないヤツもいるのに...だ

後は好きなように生きれば良いこの力を使えば自由に生きられるんだなんならあたしが手ほどきしてやってもいい

ソウルジエムを綺麗にして魔法もほんほんつかつてさ楽に生きなよ恋愛くらいで死ぬなんてバカバカしい



おっ！
おい！

私のほうが教えてあげようか

そんなんで「手ほどきしてやってもいい」は無いでしょ



あんた恋したことある？



無いが

あはは

享楽的な生き方してるクセに



そういうところ潔癖そうだよ

教会の子だし

……何の話だよ





仁美もそうだった

血の味がする



恋は苦い味が
するとか



払えっての！

宿泊費は？

……

良いホテル
泊まってるんだ

へへ
まーね



杏子ってさ
顔ちっちゃいよね

そうかあ
あんまかわんねーと
思うけど





















あんと一緒にいるのは楽しい気がするんだ



一緒にゲーセン
いく……

えっ……
寝ちゃったの？



私ってこの子と
エッチし
ちやっただんだあ

すか
すか



ジュル



つか
寝るときまで
ホニテは
ないっしょ

さやかちゃんか
ほどいて
あげよう



なんか……
子供っぽい
顔してるよなー

意外と
年下だったり
して？



これはなに?

髪留め...?
じゃない?

どこかで見つけたことある

わあ ああ かった

教会のシンボルだ

さやかちゃんから？



鹿目さん
美樹さんから
電話だよ!!



ほむらちゃんと二人でさやかちゃんを探してたんだよ!

さやかちゃん! 大丈夫...なの?!

あれ? まどかも一緒なんだ

えくそうなの? んくく...そっか
今から二人で見滝原駅まで来てよ



あーもしもし

あくあくほむら私ねく今見滝原駅にいるんだ



急ごうほむらちゃん!

さやかちゃん何か様子がへんだよ

え...そうだった?



見せたいものがあるから



さやかちゃんってちよつと意地っ張りだから...

それに声に元気がなかったかな

私じゃなくってほむらちゃんに電話したのはソウルジェムの事で気になるのかなあるんじゃないのかな



なんだか元気そうだったね



なら
鹿目さんは
家に帰って

どうして!?



だって…

鹿目さんの目の前で美樹さんが
魔女になったらどうする?

きつと…悲しみ傷つく
戦うことだって出来ないだろう

あんな気持ち
鹿目さんに
させたくない

美樹さんの生む魔女の
戦闘データが無いから
私だけじゃ苦戦するかも
しれないけど…



何を言っているの私は!!
美樹さんが魔女になるとは
決まっていけないのに!!

でもいつも
楽観的展望は
否定されてきて…

どうしよう…



ほむらちゃん

さやかちゃんは
親友なの

私は駅に行くよ

親友…
…そうだね

鹿目さんなら
美樹さんの魔女化を
止めることが
できるのかも…



鹿目さん

何が起きても
必ず自分の身を
守る事を優先して
決して感情に
流されないで

うん…?
うん

鹿目さんを
守るのが私





杏子にだけは
見つかかりたく
なかつたんだけど

あはっ
見つかつたか…



ほあ

ほあ

ほあ

探させるなよ…

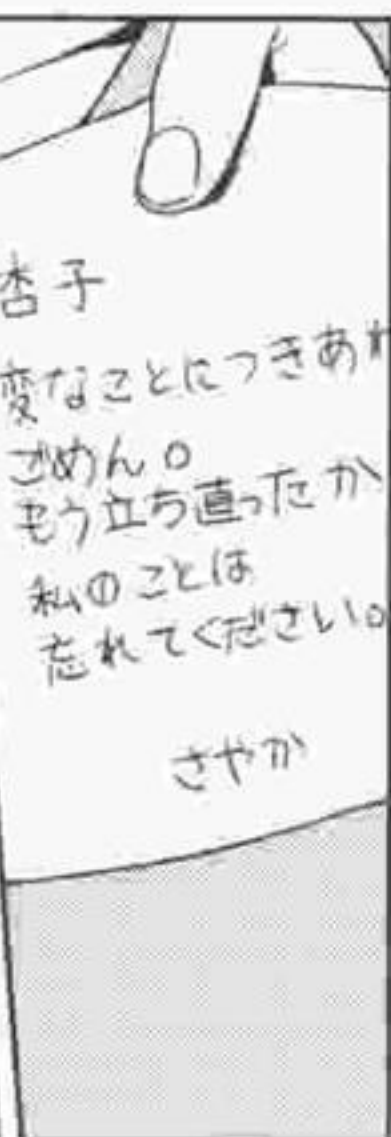


見滝原駅にいるんで…
はい…ママさん
よろしくです



まあね

なーんだ
元氣そう
じゃん



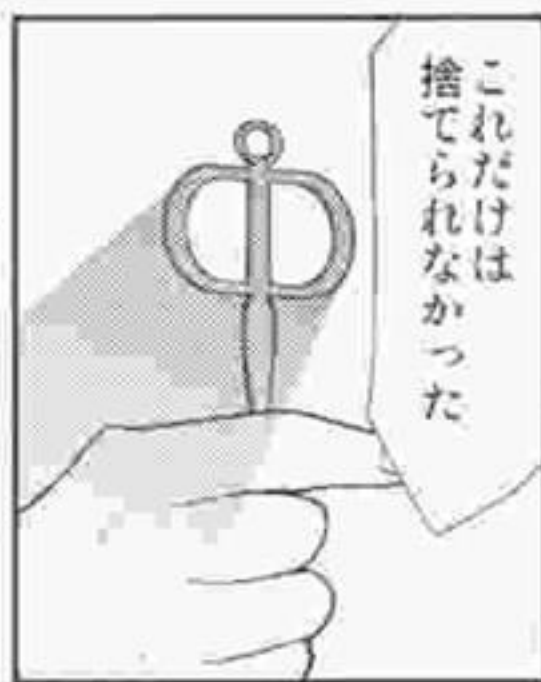
杏子
変なことにつきあ
ごめん
もう立ち直ったか
私のことは
忘れてください

さやか



こういう
置手紙するってのは
本当は探して
欲しい気持ちの
裏返しで!!

本当に消えたいやつは
何も残さず
消えるんだ!!





やっぱり…
そうだよね

杏子も家族のこと
大切に思っていて
ずっと一緒に
いたかったんだね

私たちの祈りは
簡単に
捨てられる
わけないし…

捨てちゃ
いけないんだ



私ね

恭介のことも
恭介の音楽も
好き



恭介の手を治したこと
間違っただけで
ちやんと思えるんだ

失恋はしちゃったけどね

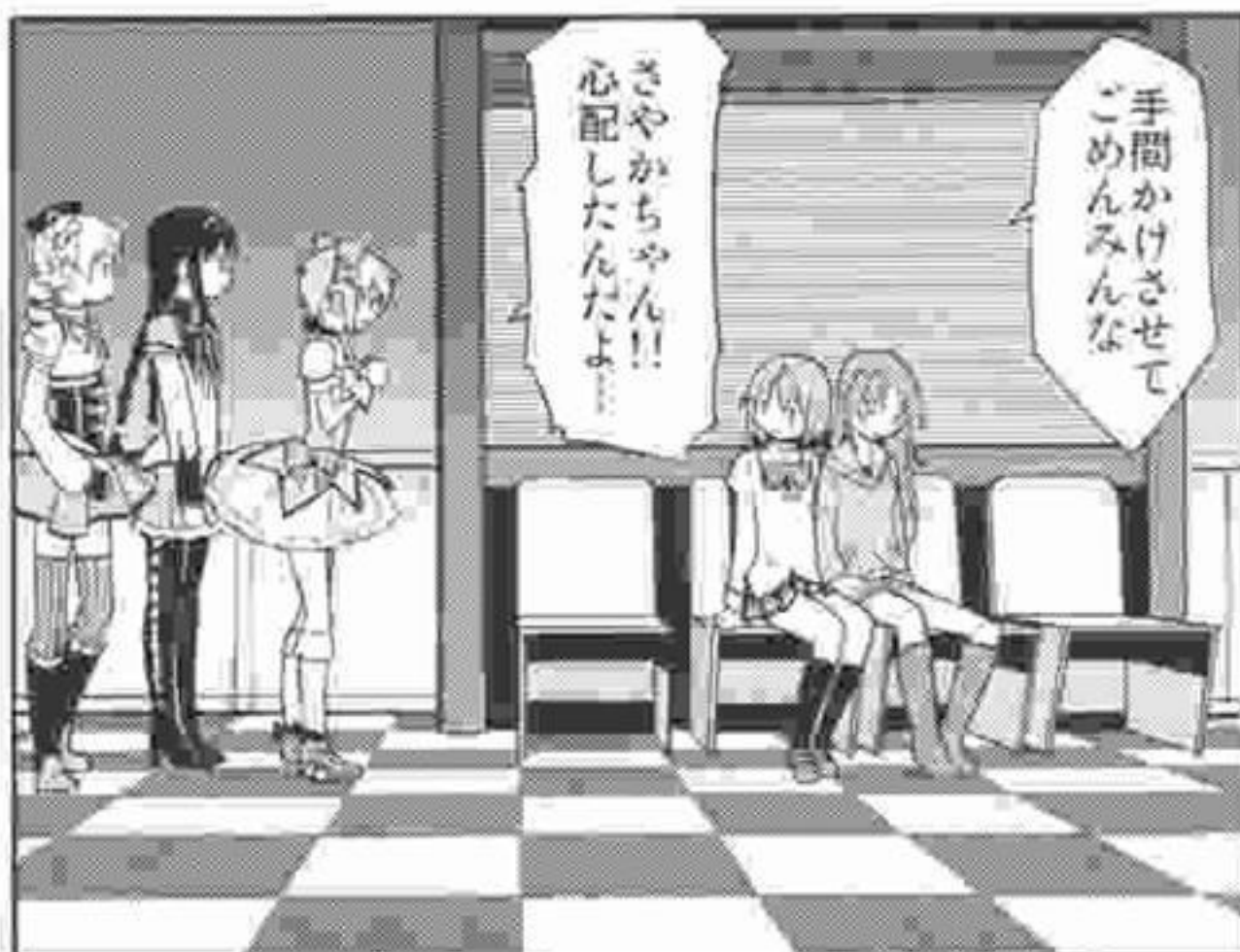
何が大切か
忘れかけてたけど

杏子がいたから
思い出すことが
できたよ

ありがとう
杏子









もうすぐここから
魔女が生まれるよ

これが
穢れを限界まで
溜め込んだ
ソウルジエム



さやか
ちゃん…?

美樹さん…
あなた…

おい…
さやか?



見ての通りさ
まもなくさやかの
ソウルジエムは
消滅し
グリーンフシードに
変わる…
魔女が
生まれるんだよ

しかし意外だな
この状態で呪いを
生まないとは
折りととは別の
執念が
そうさせている
のかい?



ほむらの
言っていたことは
本当…信じてあげて…
私が証明になるよ

最後にそれを
伝えたくて
みんなを呼んだの



ばか!!
グリーンフシード
使え



どういう…
こと…なの?
キエウへえ!!



さやか!!

こめん
これだけ
もらっておく

恋を教えて
くれるんじゃない
なかったのかよ!!

杏子...

まぎれもなく
あんたは

私を救ってくれた

正義の味方だよ



何故いつも…

私を

置いていくんだ





キュウベえ…
どうして…うなの
魔法少女から
魔法が生まれるなんて
言わなかったじゃない？

そんなにソウルジェムの真実を
知りたかったのかい？
知らないほうが同類殺しをする
負い目を負わなくていいじゃないか
キミたちはそういうことを
気にするんだらう？

現に今 マミのソウルジェムは
魔力の消費ではなく絶望によって
種れを溜め込んでいる
ソウルジェムの真実に耐えられないんだ
知らなかったほうがよかったらう？

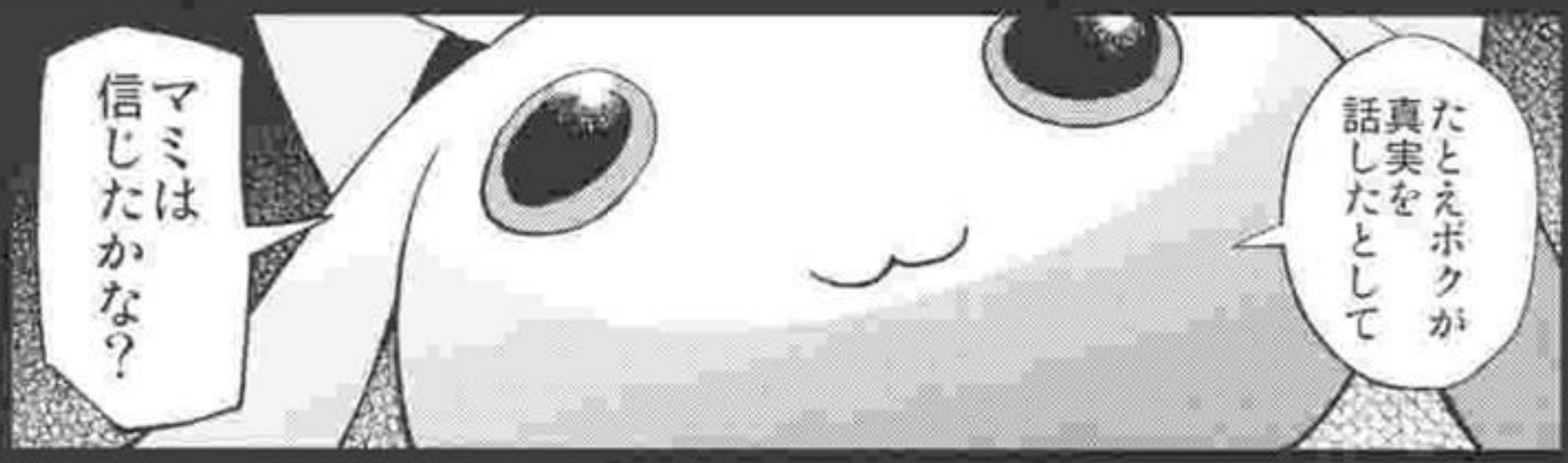
友達だと
思ってたのに
嘘吐き…
うそつきよ！
ずつと信じていたのに

ボクはマミを魔法に
させようとしたことは無いはずだよ
これまでに魔法を生んだ魔法少女は
ボク達によってではなく
自身の祈りから生まれた絶望に
よって自ら魔法になったんだ
絶望せず定期的に魔法を狩り
ソウルジェムを浄化してさえいけば
魔法少女は不死の存在だ
何が問題があるかい？
キミもその恩恵に
あずかったじゃないか



たとえボクが
真実を
話したとして

マミは
信じたかな？















眠っている間でも
ソウルジェムって
濁るんだ
怖い夢でも
みてるのかな…



あれ？
鹿目さんの
ソウルジェム
さつきより
濁ってる？

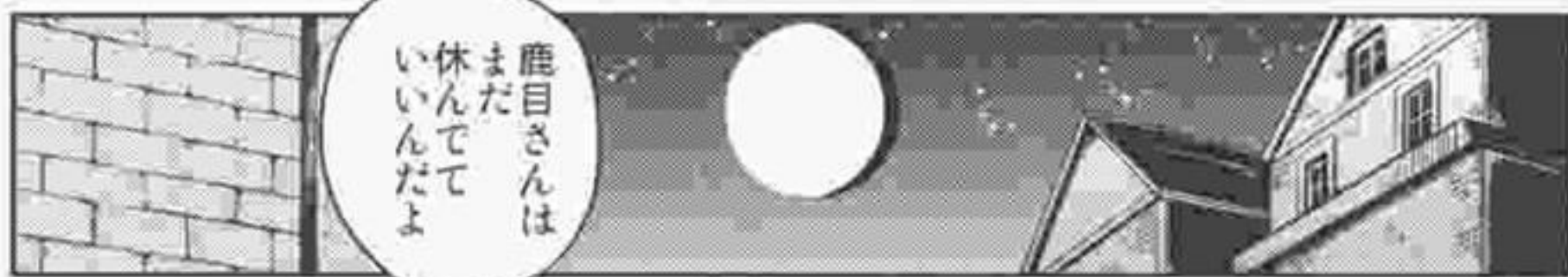


よかった
眠ってた
くれて



なんだか…
こんなことばかり
詳しくなってる
私…

なのに
鹿目さんの時間は
楽しいばかりじゃ
なくなってきた…



鹿目さんは
まだ
休んでて
いいんだよ



魔女はもともと
魔法少女でしょ
きつとみんな
魔女になんて
なりたくなかった
はずだから…
とめなきや

さやかちゃんも
そうだった



鹿目さん…
だけと…

でも一人でなんて
危ないよ
私にも戦わせて



この魔女は倒し方
知ってるから一人でも…



ワルブルギスの夜は絶対にとめなきやいけないでしょ

おねがい…

今はもうワルブルギスの夜をとめるのが…私が生き残った意味でもあるから



鹿目さんが魔女の弱点を攻撃するの!!

時間をとめて魔女に接近



うん…わかった
じゃ…じゃあ…
作戦を伝えるね

うん



鹿目さん
行くよ!!



はいよ
ほむらちゃん!!



二人で
倒せちゃったね

ただどさ
この格好……ちよっと
恥ずかしいかも……

停止時間の共有
機動性：鹿目さんの弓の
使用を考えたらこんな
格好しか思いつかなくて

ただどほむらちゃん
と繋がってるから
安心感はあるかな

幅又井

ほむらちゃん
明日の放課後
魔女も使い魔も
出なかつたら
お出かけしようよ

出かけるって
どこへ？

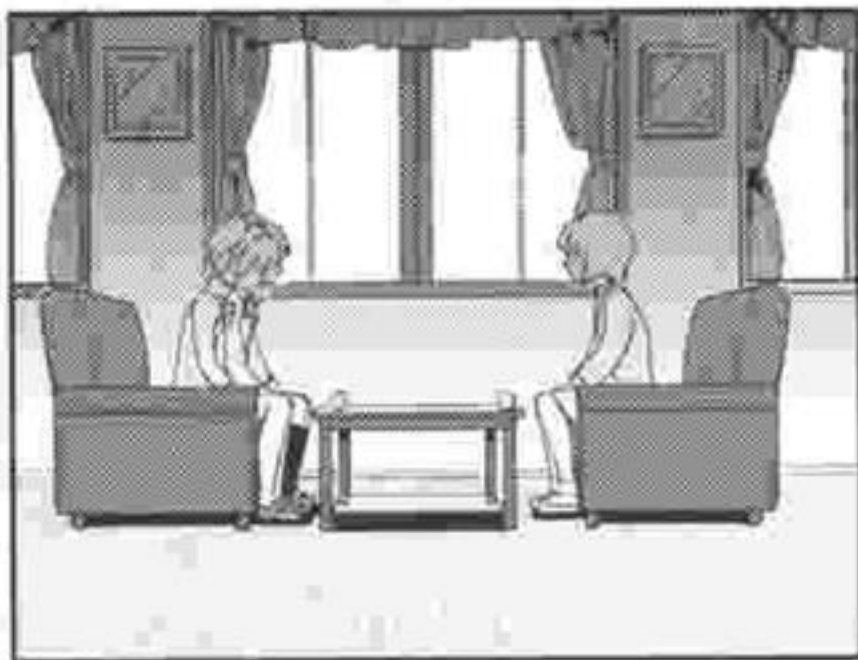
うーん
どこでも
カフェでも
映画でも

デート
だよ

コンビ技を
極めるには
もつとお互い
を知らないしね！

ででん

でえとおり！







昨日綺麗にしたのに
もう濁ってる
私が
弱い子だから…





うそ!?

本当だって



うちの親の仕事で

そろそろ発表するんじゃない

受験—配慮

行方不明の女の子と一緒に

怖い

ほら巴さんって—

あ—たしかに

ちがうの
ママさんは
みんなを守るために
戦ってたんだよ

でも
騙されて
裏切られたの

強くて
やさしくて
かっこよくて
尊敬できる
人だったのに

私が…
ママさんを

私なの

そんなふう
にやめてよ



二年の女子も
行方不明で

死ん……

……







さね

そうだったっけ？
でも先にキスしたのは
ほむらちゃんだし

あつあの
キスしたこと
怒ってるんだよね？

違うのあれは
本当に
ごめんなさい



ふええ

えっ!?!
でも先にへっ行って
してきたのは
鹿目さんの方じゃ...

じゃなきゃ
あんなキスしない

私とエッチな
ことしないでしょ

ほむらちゃん
の
したいことしょ

それより

まじゅう



暁美 ほむら

続きは



キィ

ほむらちゃん
の
家で話しょ



えっと
何か飲み物でも...

いらない



一番目の私とは
恋人だったのかな？

やっぱり
一番目の私？

いまの私は
ほむらちゃんの
友達でも

ほむらちゃんは何番目の
私が好きだった？



キス上手だよ
ね
びっくりしちやっ
た

いつの私と
練習したの？

それとも
全然別の
人？

私は初めて
だったのに

簡単にキス
できるんだ
ね



あなたが
いるだけでいいの



鹿目さんは鹿目さん
たった一人の
私の友達



何番目だなんて
思ったこともない!



大好きで



やきもちやき
八つ当たり
だったんだよ

泣かないで



そうだよ...
忘れちゃうのは
私のほうで

ほむらちちゃんに
とっては
夢物語なんか
じゃないんだ



私もほむらちゃんが好きだよ

不安なんだ

私のそばからいなくなるんじゃないかって

ワルブルギスの夜を倒しちゃったらほむらちゃんは私のこと守る理由が無くなるんじゃないかって…



ほむらちゃんがいなくなったら私…生きる理由がなくなっちゃうよ



仲直りのキス



でもさああいいうキスしたのに変な言い訳するのはよくないよ



だから



体のラインが
とても綺麗で…

ときどきするよ☆

あ

いじゃん



ほむらちゃん
魔法少女衣装好きだな

地味：
じゃない？

そんなことないよ！
ほむらちゃんに
凄く似合ってる
かっこいいもん



こ褒美

ちゅっ
ちゅっ



105



ほむらちゃん
エッチなポーズ
してみても

どっ…
どんな？

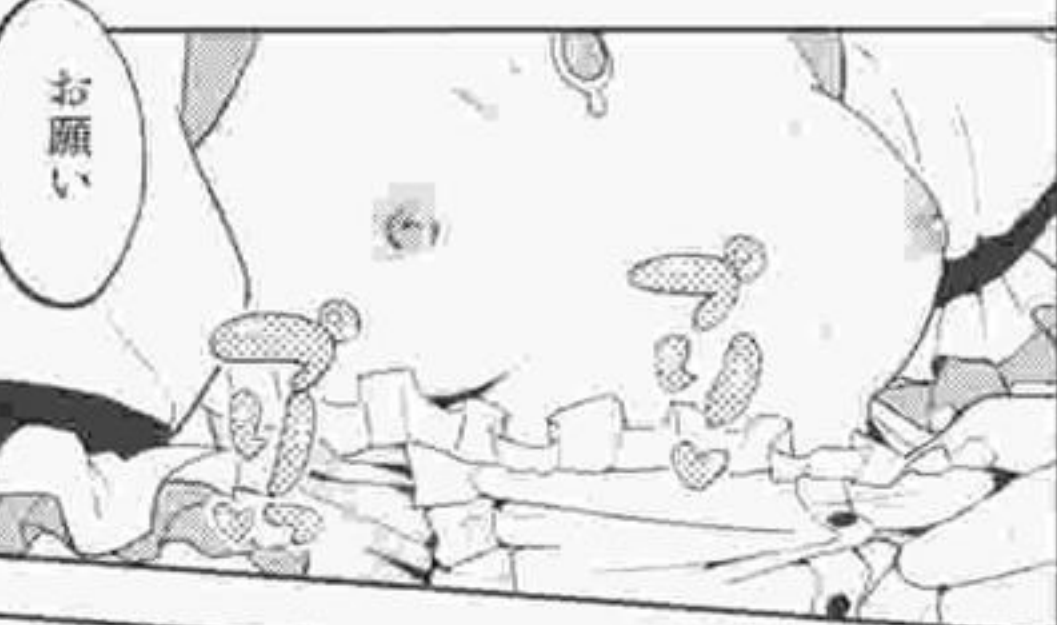
足広げてみて

うふっ
いいね♡

ほんとう？
嬉しい…かも



なんだか…切なくなってきた
ほむらちゃんも私の吸って



お願い



ほむらちゃんもっといっほいキスして

秘密の場所にキスしてもいい？
鹿目さん

うん…





私が鹿目さんの
そんな顔みなの
初めてなんだよ





わたしも
ほむらちゃん
初めてが欲しいな



ワルブルギスの夜を倒して
ほむらちゃん
新しい時間をすこすの
必ずだよ

今まで私のために
がんばってくれて
ありがとう
でもそれも
今回で終わり



ええ
もらって……
私の初めて



私はほむらちゃん
みたくに
強くないから
沢山迷惑かけちゃう
かもしれないけど
私のそばにいて
折れそうになる
私を
支えてほしいの





ズン

トク

トク

ほむほむさん

ズン

ズン

がなめ
さん

スモ

スモ
スモ
スモ

ズン
ズン
ズン

とろけた
表情みせて♡



とん とん とん

ピチ

トク

トク

スモ
スモ
スモ
スモ

ズン
ズン
ズン

トク

トク

トク

スモ
スモ
スモ

トク

トク

トク

トク

ズン

トク



トク

トク



トク



ほむらちゃん
きれい



そんなこと
……ないよ

いつか私の初めても
もらって欲しいな
って……

そうだね
私のこと『まどか』って
呼んでくれるように
なったら……

私の初めてを
あげる



あの夢の続きが
みれるかな？

そうしたら



何ほら

……



もう友達
じゃないでしょ！

おんすか！

ひゃい！
ごめんなさい



特に理由の
ない

女の子の質問

なんふん
なんとなく
聞きたいだけ



むっ

一番大切に
大好きな
友達……だよ



ほむらちゃん
私のこと
どう思ってる

え？
どうしたの
急に……







私たちも…
もう
おしまいたね

グリーンフ
シードは？

ううん

そう



ねえ…私たち
このまま二人で
怪物になって…

こんな世界
何もかもメチャクチャに
しちやおつか？

あ、は、は

嫌なことも悲しいことも
全部無かったことに
しちやえるくらい



ほむらちゃん
私…何も
できなかつたね

ワルブルギスの夜も
倒せない

さやかちゃん
マミさん
杏子ちゃん
街のみんな…
誰も救えない



壊して
壊して
壊しまくってさ…

鹿目さんと
一緒に魔女に
なれるなら

なんだかそれかも
幸せなことだって
思えるから…



ほむらちゃんまで
絶望に身を
任せようとしてる

私が弱いから…

私が
ダメだから…

魔法少女になつちゃ
いけない…んだ

だけど
ほむらちゃんは違う

さっきのは嘘で
一個だけ取って
おいたんだ



無責任だよね
酷いよね……

よかった……

何もかも
ほむらちゃんに
託して

私はすべて
忘れてしまう



キユウベえに
騙される前のバカな私を
助けてあげてくれないかな？

私よりずっと
強いから……
お願いするよ

うん……
約束するわ！
絶対にあなたを
救ってみせる

何度繰り返す
ことになっても
必ずあなたを
守ってみせる！



私……魔女には
なりたくない

もう一つ……
頼んでいい……？

嫌なことも
悲しいことも
あったけど

守りたいものだって
たくさん
この世界にはあったから



恋人を
撃たせるなんて

きっとほむらちゃんは
忘れることが
できない……のに



まどか!!!



嬉しい...

な



やっと名前で呼んでくれたね



ほむらちゃん

死んじゃっても怖くないよ

ほむらちゃんが名前で呼んでくれたから...

きつと...素敵なきつと...夢の続きが...みれるよ





いつも
いつも...

まどかにばかり

つらい
思いをさせて

ごめんなさい

次は...きつと
うまくやる...わ

まどかとの約束
守るから...









ごめめん



ヒント!!

チーズ
なのです

フルーツタルトが
いいなあ

うふ♡
当ててみて

今日のケーキ何?



本当に...

笑顔で
いてくれて

楽しんでいて

まどかが
幸せで



よかったあ

本当に

夢なんて
優いものじゃ
ないけれど

神様にとって
人の一生なんて

ほんの一瞬の
夢のようなもの
かしら？

人間のあなたが
一生を終えて
神様が目覚めたとき

寂しくないように
ずっとそばにいますから

楽しく素敵な
夢をみてね

愛して回るわ

まどか

あとがき

何でかやたらと続いている過酷少女絵巻シリーズ、まさか3作も出すと思っていなかったんで(出すとしても違うタイトルにするとおもってて)、タイトルのナンバーをどうするか全然考えていなかったのです。

前作に「続〜」とつけてしまったので、三作目に突然『過酷少女絵巻3』とナンバリングされても、タイトルに統一感がないかな?とおもいまして難しい方の漢数字(という表現で表現しているのか?)の「参」となぞらえて「〜参」といたしました。

内容的にも明るい漫画ではないですしね…表紙明るいくせにね…原作での三周目を舞台にした時点で明るい楽しいお話は無理なことでした。

原作三周目を舞台にしつつ、この同人誌的には「ほむほむ、幻の周回プレイ(R-18)」ラストではむららが転校してきたところの周回でもあります。

今回もっとも苦勞した部分はさやかと杏子のエロシーンでして、この二人のセックスがなかなか想像できなくて、どっちがリードするのかや、性知識はどれほどのものなのかとか難しかったです。中二くらいだと、男女のエロについては知識があっても女同士となると自分から調べない限り知ることってほとんどないんじゃないかな〜とおもったので、さやかにはべたれてもらいました。

そんななかで、さやかのマントを全部取らずに襟部分だけ残したのが、自分でもよい感じでお気に入りです。

今回の本では魔法少女コスでエッチするのが目的であったのでさやかのコスチュームをどこまで脱がすべきか悩みました。なんせさやかの衣装はデフォルトでエロい衣装なので……マントを全部取ったら無防備すぎて…

反省点は、杏子の過去があまりかけなかったところでしょうか。マミさんと何かあったのかなかったのかなんなのか……。面白い話になりそうだったらいつか描くかもしれません。

今回マミさんはあまり登場してないですが、25~26Pで「Look!」「watch out!」って言ってる妖精は「ゼルダの伝説時のオカリナ」というゲームに出てくるキセラでカーソルです。声優さんがマミさんなので……たったそれだけのコネタ……

次回作はまだ何も考えておりません。今作が暗い内容だったから次は明るい話を描けたらいいな〜とおもいながら、特に内容はさまつておりません。

次、何か描けたらそのときはよろしくお願いたします。

ありがとうございました。

あやひ

奥付

■発行年月日■
2014年8月17日

■サークル名■
ネダオレ

■連絡先■
URL:<http://homepage3.nifty.com/nedaore/>
MAIL:nedaore@gmail.com
pixivID:2911523

■印刷会社■
栄光印刷

無断転載・無断複製禁止



悪魔世界に致命的なバグが発生した為
人間まどか生存中に神様起床したらしい



そのころ
人間界の
まどほむ